

芝に使える展着剤

まくひびか[®]

®は石原産業㈱の登録商標

- 濡れ性が良く、均一にすばやく広がる!
- 散布液がすばやく乾く!
- 散布水量の低減が可能!



まくひかとは



新しいタイプのシリコーン系展着剤

有効成分: ポリオキシエチレンメチルポリシロキサン 93.0%

人畜毒性: 普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

危険物: 第4類第3石油類

シリコーンは構造の違いにより様々な特殊機能を持つ素材で、安全性も高いことから幅広い産業分野で使用されています。

展着剤としては表面張力を下げる働きが強く、濡れ性(散布液の湿展性)を改善します。

「展着剤」の役割は?

薬剤の効果を安定させる

- 濡れ性の改善
- 散布ムラを防ぐ
- 薬剤の飛散防止

まくひか加用により以下の効果が期待できます。

まくひかの特長は

特長 1 濡れが速い! 濡れがすばやく広がる!

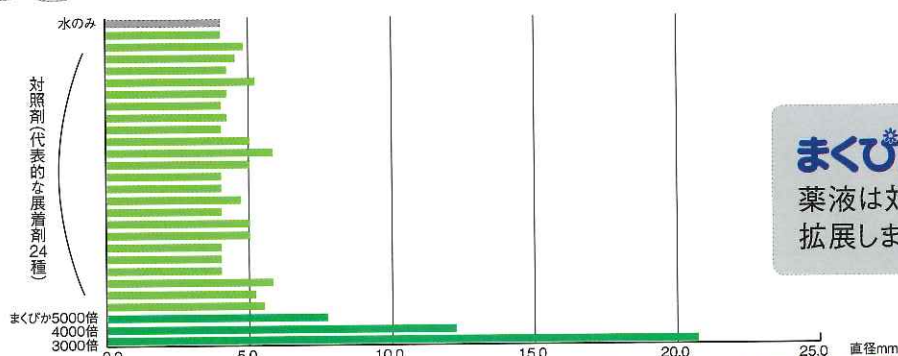


図1. プラスチックシート上における各薬液の滴下30秒後の広がり(直径mm) 石原産業中央研究所内

まくひか加用により、薬液は対照剤と比較し速やかに拡張します。

無加用

まくひか10000倍

まくひか5000倍

まくひか3000倍

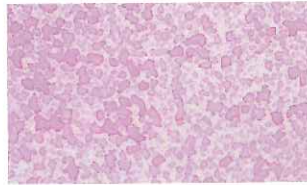
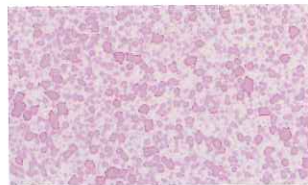
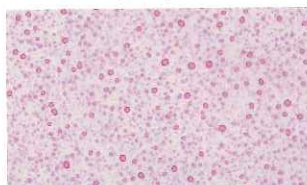


写真1. まくひかの拡張性試験 石原産業中央研究所内

OHPシートに各濃度のまくひかを加用した水(色素添加)を20ml/m²散布した結果、濃度に依存して色素の面積が大きくなり、まくひかの優れた拡張性が確認された。

特長

2 濡れにくい植物に対して濡れ性が改善!

展着剤無加用の散布液

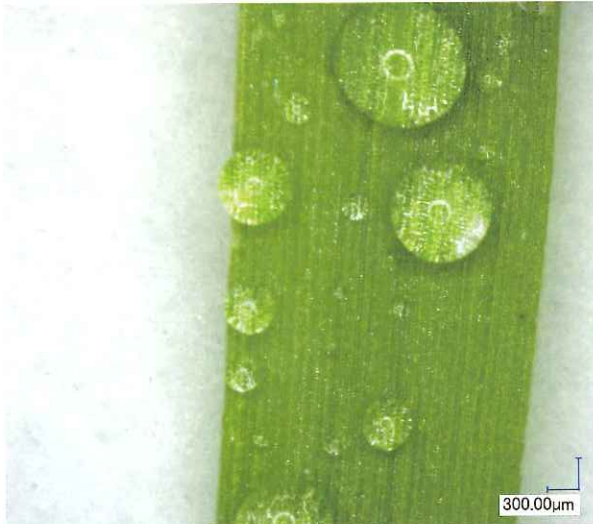


写真2.メヒシバに対する濡れ性試験 石原産業(株)中央研究所内

まくびか3000倍加用の散布



展着剤無加用
シバゲンDF0.02g/m² 200 mℓ/m²散布



写真3.スズメノカタビラに対する濡れ性試験 石原産業(株)社内試験

まくびか4000倍
シバゲンDF0.02g/m² 200mℓ/m²散布



まくびか 加用により、付着し難い植物に対しても均一に薬液が付着し、安定した薬剤の効果が期待できます。

特長 **3** 散布液の乾きが速い!

一般的な展着剤

まくひか**3000**倍

まくひか**5000**倍

処理1分後



処理6分後

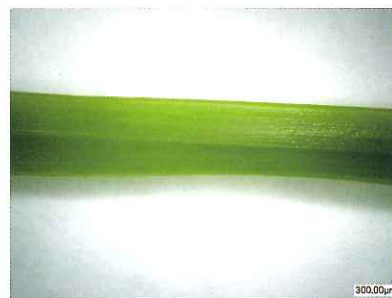
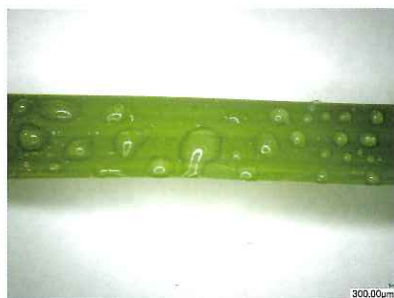


写真4.ノシバに処理後、薬液の乾きやすさについての検討 石原産業(株)中央研究所内

まくひか 加用により、葉面に付着した薬液をすばやく乾かし、効果を安定させます。

まくひか をお使いいただくメリット

- 少水量散布でも薬液を均一に付着させ薬剤の効果を安定させます。
- すばやく薬液が乾くことから、作業効率の向上が期待できます。



まくびか[®]のベントグラスに対する影響

無処理区



まくびか3000倍



まくびか1500倍



まくびか750倍



写真5. まくびかのベントグラスに対する倍量薬害試験

試験日時: 2012年3月2日 調査日 2012年3月13日

試験場所: 関西グリーン研究所

対象草種: ベントグラス(ペンクロス)

希釈倍数: 3000倍、1500倍(2倍量)、750倍(4倍量) 散布水量: 200m²/m²

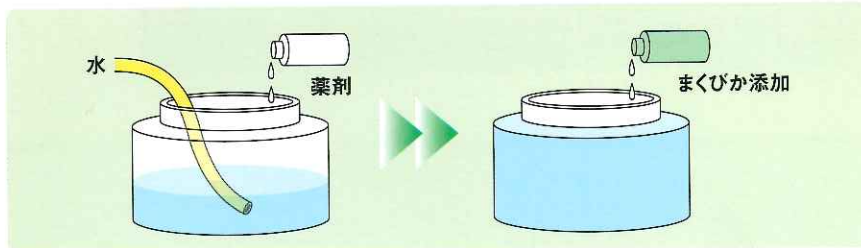
まくびか[®]はベントグラスにも安心してお使いいただけます。

特に注意してください

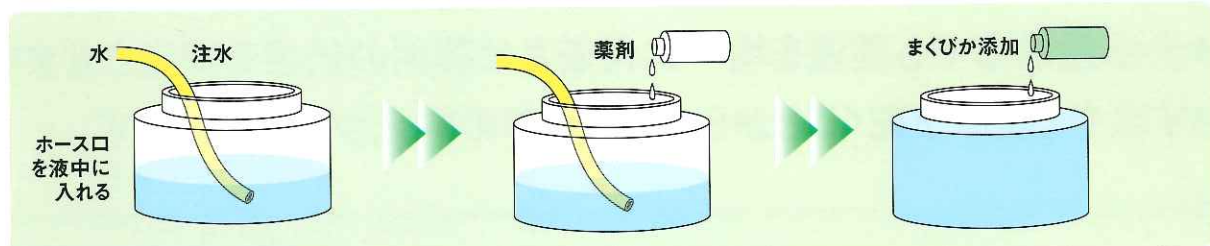
まくびか[®]の上手な使い方

泡立ちを避ける薬液調製方法

- 1 「まくびか」は薬剤タンクに水を満たした後、最後に添加してください。



- 2 残薬液に注水して薬液を調製する場合は注水ホース口を薬液の中に入れるように注水してください。空気を液中に取り込むと泡立ちが多くなります。



- 3 消泡剤を使用する場合は最初に添加してください(添加量は1tタンクに2~3m²程度)

適用作物と使用方法

(抜粋)本内容は平成23年4月6日付の登録内容に基づいています。

適用農薬名	作物名	散布液10ℓ当りの 使用量(希釈倍数)	使用方法
殺菌剤・殺虫剤	芝	1~3.3ℓ (10,000~3,000倍)	添加
フラザスルフロン水和剤(シバゲンDF) アシュラム液剤(アージラン液剤) トリクロピル液剤(サイトロンアミン液剤) MCPP液剤、ベンディメタリン水和剤等の除草剤			
非選択性茎葉処理型除草剤			
	適用農薬の登録内容の作物		

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 所定量の本剤を直接散布液に加え、十分かき混ぜてから散布してください。
- 泡立ちを避けるため、散布タンクに水を満たした後に、本剤を添加してください。
- 極端な酸性、アルカリ性の散布液では使用しないでください。
- 使用にあたっては、使用農薬の使用条件や使用上の注意事項を厳守してください。

⚠ 安全使用上の注意

- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬液が眼に入らないように注意してください。
- 眼に入った場合は、直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 公園等で使用する場合は、使用中および使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意してください。

保 管 火気厳禁。密栓し、火気をさけ、食品と区別して直射日光のあたらない冷涼な所に保管して下さい。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

よく読んで詳しく確認しましょう!
適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

ISK 石原産業株式会社

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本 社 〒102-0071 東京都文京区後楽1丁目4番14号 ☎(03)5844-6320 FAX(03)3812-6548
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリアビル) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
 仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6891 FAX(022)264-4585
 東京支店 〒102-0071 東京都文京区後楽1丁目4番14号 ☎(03)5844-6350 FAX(03)3812-6589
 大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号(新石原ビル) ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>



石原テレホン相談室 0120-1480-57

イシハラ イーナ